

インナー大会 プレゼン部門 2019 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学名 (フリガナ)	学部名 (フリガナ)	所属ゼミナール名 (フリガナ)
フリガナ) キョウリンダイガク	フリガナ) ソウゴウセイサイクガクブ	フリガナ) ハンダゼミ
杏林大学	総合政策学部	半田ゼミ

※大会申込書に記入したチーム名から変更することはできません。

※パワーポイント内に動画を使用している場合は「有・無」を記入し、「有」の場合は使用するスライド番号も記載してください。

チーム名 (フリガナ)	代表者名 (フリガナ)	チーム人数 (代表者含む)	PPT 内動画 (有・無)	動画使用 スライドページ
フリガナ) パンダパンダチーム	フリガナ) オオアシ リカコ	4	無	
パンダパンダチーム	大蘆 梨花子			

※当日使用する PC、マイク、レーザーポインター機能付きワイヤレスプレゼンターは会場に準備しております。

これらは個別にご用意いただいても大学施設・設備の関係上ご利用いただけませんのであらかじめご了承ください。

発表時に使用する成果物 (例: 商品化した●●、店舗で配布したパンフレット、調査時に使用したアンケート)

特になし

※成果物の配布は、『禁止』とさせていただきます。

研究テーマ (発表タイトル)

「女性の社会復帰 解決の提案」

※必ず<企画シート作成上の注意>を確認してから、ご記入をお願いいたします。

1. 研究概要 (目的・狙いなど)

現在、日本の社会問題のひとつとして「女性の社会復帰」が上げられています。それにはさまざまな要因があり、解決に向けて多くの法律や改革が行われています。その要因の中にも含まれる「保育所不足」、「待機児童」については、いまだに解決に向けて大きな成果が出ていません。

そこで私たちは、女性の社会復帰を助けるため、保育所不足と待機児童を解決するための方法を提案いたします。

2. 研究テーマの現状分析 (歴史的背景、マーケット環境など)

そもそも女性が社会復帰を希望する理由というのは、結婚、育児をするうえでの経済的な不安が一番の要因です。少子化も問題となっている今の時代、経済的な問題で子供をあきらめてしまうということもつらいと思われました。子供を生みたいと考えていて、生むことが可能な家庭のために、「経済的不安」を取り除くことが今の日本でやるべきこととあります。

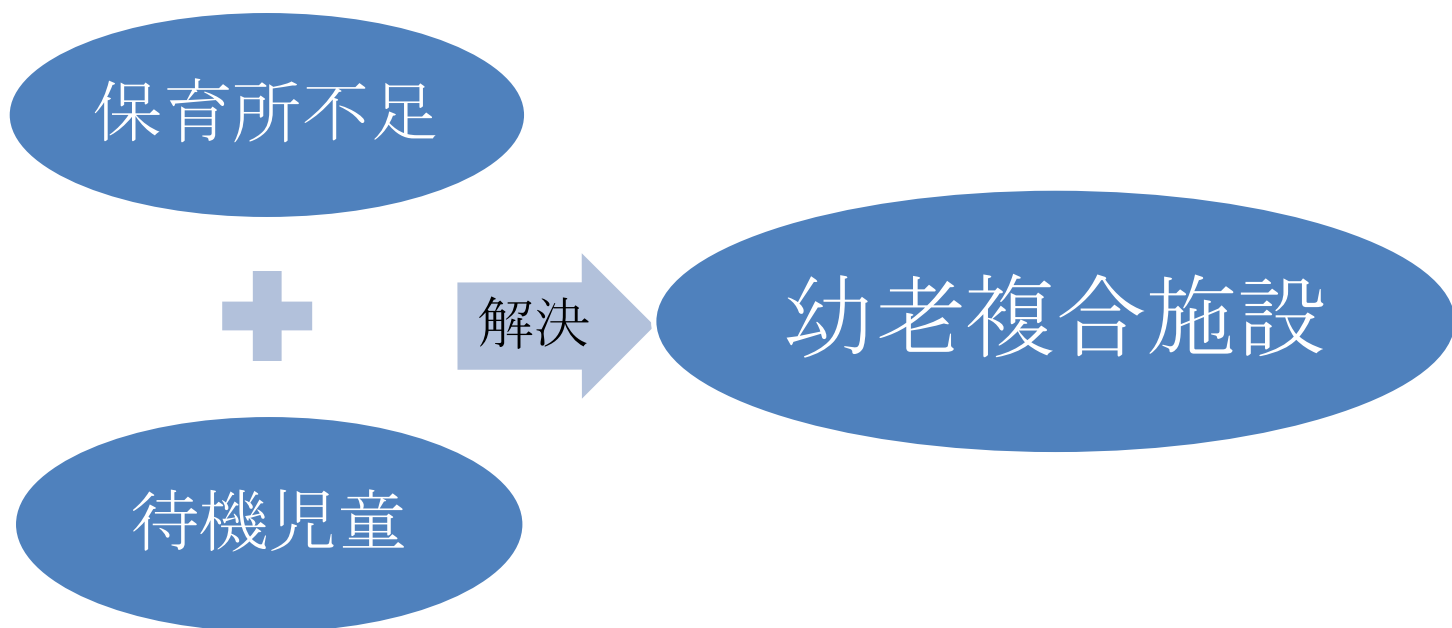
3. 研究テーマの課題

働きたい女性を支援するため、実質いちばんの大きな課題、「保育所不足」と「待機児童」について同時に解決することのできる案を提案いたします。

「女性の社会復帰」についての課題は、育児、出産の休業がとりにくい。正規雇用者の長時間労働の問題。保育所不足。男性の家事時間が短い。という内容がほとんどです。しかし、さまざまな法律や改革により解決に向けてそれらの制度が進められています。その中でもいまだに大きな問題となっているものが保育所不足であったため、待機児童の問題と合わせて解決できる案を出しました。

4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

保育所不足、待機児童の問題を解決するための策として、幼老複合施設という案にたどり着きました。従来ある老人ホームの中に保育園の施設を増設するというものです。保育園が不足している理由として、土地不足が挙げられています。そこで、もともとある老人ホームの中に保育園を新たに増設するという方法で、解決します。



5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

現在、幼老複合施設を取り入れている社会福祉法人「江東園」という施設にお話を伺いにいきました。児童と高齢者がかわることにより世代間交流が生まれ、双方にとってよりよい関係が築かれていました。また、児童と高齢者だけでなく障害者も含め交流が行われています。地域との連携により、共生社会の実現を目指しているということも聞くことができました。

このインタビューにより、保育所不足の解消だけでなく、高齢者と児童、それぞれに良い影響をもたらしていることを知ることができたため、さらに広めていきたいと考えるようになりました。

6. 結果や今後の取り組み

待機児童が集中しているのが東京都のような都市部であり、土地がないという理由で深刻化しています。今回提案する「幼老複合施設」では、土地の問題を解決することが可能であり、保育園を新設するよりも施設内に増設するほうが金銭的な不安が小さく済みます。

今後については、幼老複合施設という存在を広め、このような施設がもっと増えるよう実現性を高めていきたいと考えております。

7. 参考文献

- 厚生労働省「働き方改革」

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000148322.html>

- 公正労働省「働く女性の実情」

<https://www.mhlw.go.jp/bunya/koyoukintou/josei-jitsujo/17.html>

- 総務省統計局「労働力調査の概要、結果等」

<https://www.stat.go.jp/data/roudou/index2.html>

- 厚生労働省 H.28 年度「雇用均等基本調査」

<https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/71-28r.html>

- 厚生労働省「労働時間、休日」

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/roudoukijun/roudouzikan/index.html

- 厚生労働省「平成 28 年度毎月勤労統計調査」

<https://www.mhlw.go.jp/toukei/itiran/roudou/monthly/28/28r/28r.html>

- 経済産業省「事業所内保育施設等実態調査事業報告書」

<https://iss.ndl.go.jp/books/R100000002-I000010824891-00>

<企画シート作成上の注意>

※本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、実行委員会から審査員(ビジネスパーソン・大学教員)の方々に事前にお渡しいたします。

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1 チーム・1 点提出してください。また、インナー大会終了後、プレゼン部門にご協力いただいている日経ビジネス様（株式会社日経 BP マーケティング）に大会結果ページを作成いただいております。大会結果ページにはチーム名やご提出いただいた本企画シートが掲載されます。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1~7 以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、4 ページ以内に収めてください。実行委員会から審査員に渡す際は、A4 サイズでプリントし、4 ページ目までをお渡します。

※大会参加申込み時点から、チーム編成の変更(チームの人数・交代など)は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、実行委員会(プレゼン局)にご連絡ください。実行委員会側で協議のうえ、ご返答いたします。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日本学生経済ゼミナール関東部会・日経 BP 社・株式会社日経 BP マーケティングは一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先（使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など）を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Web サイト上の資料を利用した場合は、URL とアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

※パワーポイント内で動画を使用する場合は、必ず「有」とご記入ください。「有」の場合は使用するスライド番号も明記してください。動画を使用する際の注意事項は参加要項に記載しております。

※成果物を使用する場合は、必ず企画シートにご記入ください。企画シートにてご記入が無い場合、発表当日のご使用を「不可」とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

↑ ここまでを 4 ページ以内におさめて、ご提出ください